１２月区代表・交流会まとめ

テーマ:保護者会の役員の決め方、
次世代への伝え方をどのように工夫していますか？

役員の決め方

●アンケート、立候補、その後話し合い。学年で決まっているところも。〇できるところを話し合いで決める。〇会長や役員が個別で話す。

●年末までに、「学童に来年度在籍するか否か」と一緒に希望役職のアンケートをする。〇2-５年生保護者に任せる。〇２、３年生中心。〇役員経験者を含めメーンとサブの２人体制。１年目にサブ、２年目にメーンというところも。メーンが変わってもサブが理解しているので業務が引き継ぎやすい。

●２、３年中心が多い。かつての役員に頼む場合も。

●学童入所時で担当を決め仕事を覚えもらう。基本は２年生中心、足りないと３年。〇担当グループが卒所まで同じ。〇副会長が翌年会長。〇３年生保護者が２年生保護者をフォロー。

●２-５年で立候補、１年やったら１年休み。〇部単位で役職を選出。〇２、３年生で役職をやってきたが児童数が減り６年生保護者がやる場合もある。決まらなければ会長選出を含めくじ引き。〇２人体制で交代。〇毎年同じ人が役員をやっているところもある。〇得点制で役職実績を評価する。

●会長は何年も歴任する人も。〇新２年生が役員。〇２-４年がやるところが多い。〇希望に順位を付けてもらい会長が決める。サブとメーンを決め引き継ぐ。〇ＯＢが手伝い。〇１児童につき１回は役員やると入所前に確約をもらっている。

●指導員が推薦。〇アンケート。〇運営･行事･会計の３グループがあり各グループ長が役員。皆どこかでグループ長をやる。向こう３年位は誰がやるか決まっている。入所時に希望グループを聞く。

●アンケートをとり配置を決める。「やれない」と断る人もいて「必ず１回はやる」というルール。

●基本は父母会や役員会で決めていく。〇アンケートをとる。〇くじ引き。〇２年生以上はなんらかの役を担う。副会長が２人いて翌年会長。〇グループに分けグループ内で引き継ぎ。行事は１－６年全家庭が何らかを担当。低学年に教える。

●２年目、３年目がやる、〇１回はやる。〇会長が決まらないので最初に決める。

●コロナ禍前は対面で決めていた。今はアンケートを採るところが多い。まず会長を決め、次に各部。

●１年ずつだと引き継ぎが難しいので、１年目がサブで２年目がメーン。〇できる人ができることを無理なくできるよう、入所時に得意分野アンケート。

●1 児童あたり 1 年、基本 2 年生の父母が役員対象。2 年児童が多い場合は、翌 3 年生時に役員になる場合もある。〇会長等不人気役員があるため、2 年任期、特別な場合を除きくじ引き。〇役員とは別にキャンプ実行委員か餅つき実行委員のどちらかを全父母が担当。イベント担当役員と共に実務。〇基本は 2 年生保護者が役員。2 年生が少ないと前年の役員に継続をお願いせざるを得ない。〇前年度の父母会長→本年度区連協担当、前年度区連協担当→合同雇用担当などある程度流れを組んで決定。〇２、３年生で立候補、出ないとじゃんけん。それでも足りないと前年の役員。〇キャンプや祭り役員以外に任せる。

●秋頃に検討を始めるところが多い。〇３年時など役員になる時を決めている。〇基本は立候補。または話し合い。

●２年生に役員頼む。人数が足りなければ他の学年。

次世代への伝え方

●コロナ禍前はイベントで。今はミニキャンプやドッチボール大会、お祝いの会、餅つきの会などで交流しながら。役職は各自で引き継ぎ。〇マニュアルを引き継ぐ。〇会長は顧問としてフォロー。〇みんなで集まり作業。新１年生保護者と一緒に。前年役員が資料を作り理解してもらう。〇個人同士で引き継ぐところも。〇パソコンに資料。修繕のことやエアコンのことなどをひきつぐ。〇資料はバインダーで整理。全員は見れず共有は難しい。〇前任者がＬＩＮＥでフォロー。〇各役員ごと引き継ぎの日程を調整。〇古来より受け継がれている紙ファイルのみ。電子化を順序進めている。〇３月に引き継ぎをし、１カ月は前任がサポート。〇保護者会がリアル開催になり始め役員会で引き継ぎ。〇役員同士で。年度初めには前任がフォロー。〇引き継ぎはデータで残す。